

レース報告書

2026 SUPER FORMULA 第8戦

スポーツランド SUGO

8月8日（土）予選 天候：曇/晴 （観客動員数：6,400人）

8月9日（日）決勝 天候：晴/曇 （観客動員数：17,000人）

予選結果

#64：14位

#65：3位

予選レポート

第8戦は、4月のオートポリス大会以来となる1レース制で、スポーツランド SUGOにて開催される。前戦の舞台となった富士では、イゴール・オオムラ・フラガが今シーズン初優勝を遂げ、第7戦でも2位と健闘。一方で佐藤 蓮は不運なマシントラブルによりリタイアを喫しており、この大会では両者そろって表彰台に上がることを目標に、まずは公式予選に臨む。

予選日は朝から太陽が照り付け、暑さが厳しい1日となった。公式予選はQ1のAグループからスタート。Aグループでは佐藤がアタックを行なったが、7番手タイムで惜しくもノックアウトとなった。続くBグループではフラガがアタックし、5番手タイムでQ2へ進出。Q2ではトップと僅差の2番手タイムをマークし、Q3進出を決めた。最終セッションのQ3ではQ2のタイムを上回るアタックを見せ、3番手で予選を終えた。

コメント



総監督：中嶋 悟

「1周が短い菅生なので、あっという間に感じた予選でしたが、フラガがQ3まで進出して3番手となり、文句のない内容でした。佐藤は僅差でノックアウトとなりましたが、速さは十分にあります。2台とも明日の決勝は期待できると思いますので、上位フィニッシュを目指して頑張ります」

監督：伊沢 拓也

「フリー走行は気温が高く、その影響もあってセットアップを煮詰めるのは簡単ではないと感じていました。クルマの状態をつかみ切れないまま予選に入りましたが、イゴール選手はQ1を本当にギリギリで突破してくれました。Q2ではいいアタックを見せ、Q3で3番手に入ることができたので、流れとしては非常に良かったと思います。一方で佐藤選手も、クルマのポテンシャル自体はイゴール選手と遜色ないレベルにありました。ただ、わずかなタイムロスが響いてQ1敗退となってしまいました。2台そろって上位に進めなかったのは非常に残念です。ただ、ここ数戦は後方グリッドからでも上位でフィニッシュできているので、クルマのポテンシャルを信じています。明日は2台そろって、できるだけいい順位でレースを終えたいと思います」

#64：佐藤 蓮

「走り出しからクルマの調子は良く、フリー走行の途中まではかなりいい感触で走れていました。途中でフロアにダメージを負ってしまい、その影響で最後はややパフォーマンスを落とす形にはなりましたが、予選に向けては自信を持って臨める状態ではありました。午後は気温と路面温度が大きく下がりましたが、そこへのアジャストもうまくできたと思います。トップとの差はコンマ2秒でしたが、振り返るとストレートでのロスがやや大きく、それが影響したのではないかと感じています。スーパーフォーミュラの予選は本当に僅差なので、わずかな差が結果に大きく響くことを改めて実感しました。後方からのスタートになるのは悔しいですが、クルマのポテンシャルには自信があります。戦略も含めてしっかり追い上げ、ポイントを持ち帰れるように頑張ります」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「朝の時点では、クルマに対してそこまでポジティブな感触はなく、少し難しさも感じていました。ただ、アジャストを重ねていく中で、徐々にいい状態に仕上げる事ができたと思います。予選の頃にはコンディションが大きく変わっていたのでどうなるかと思いましたが、まずはQ1をギリギリで突破できたのが良かったです。マシンバランスも悪くなかったのも、そのままの流れでQ2に臨むことができました。Q3では、今あるものをすべて出し切る走りができたと思っています。今シーズンベストのポジションからスタートできるのはポジティブですし、予選で1ポイントを獲得できたことも良かったです。明日は優勝争いに加われるように頑張ります」

決勝結果

#64 : 10 位

#65 : 3 位

決勝レポート

決勝日は空一面が雲で覆われていたこともあり幾分か暑さが和らいだスポーツランド SUGO。決勝のスタート進行が進む頃には、黒い雲が広がり、雨の気配が感じられるなか、51周の決勝レースがスタートを切る。

14番グリッドからスタートした佐藤は、オープニングラップで1つポジションを上げてレースを展開していく。13周目にピットインを行ない、1周ごとにプッシュを続けて周回を重ねていく。レース後半はタイヤコンディションが厳しくなるなか、最後までしっかりとマネジメントし、10位でチェッカー。貴重なポイント獲得となった。

一方の3番グリッドのフラガは、勢いよくスタートして前車をうかがう走りを見せたが、ポジションキープで1周目を終える。速いペースで逃げる前の2台に食らいつき、21周目にその前の2台が揃ってピットインしたことで、トップに浮上しペースを上げて走行する。ピットインのタイミングを見極めながら引き延ばしていたところ、コース上の別々の場所で2台にアクシデントが発生し、セーフティカー導入が濃厚な

状況となったため、27周目にフラガはピットイン、チームは素早いピット作業でフラガをコースに送り出す。ピット作業中にセーフティカーが導入され、状況が整理されるとフラガは実質の3番手に。36周目にリスタートとなり、前の2台を追い立てていくが、オーバーテイクには至らず、3位でチェッカーを受けた。優勝も見える展開だっただけに、悔しさの残る結果となった。

コメント

総監督：中嶋 悟

「フラガは最高のレース運びを見せてくれました。結果は3位でしたが、内容はパーフェクトだったと思います。残りは2大会4戦となりますが、すべての力を出し切って1年を締めくくれるよう、次戦までにしっかり準備を進めます。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「2台そろって、目標としていたポイント獲得を果たすことができました。イゴールは展開としても走りとしても素晴らしく、ピット作業も完璧で、勝つに値するレースだったと思います。ただ、あのタイミングでピットに入れるべきだったのか、もう1周走らせるべきだったのか、その判断が大きな要因になってしまったので、そこは一度しっかり振り返りたいと思います。いずれにせよ、チームもドライバーも含めて完璧なレースをしてくれました。そこはポジティブに捉えています」

#64：佐藤 蓮

「午前中に走ったフリー走行の時点で、クルマの調子がいいことは分かりました。決勝は、前後で争っている人たちと逆の戦略を採りましたが、それがうまく行きました。自分自身とチームはとてもしゃいレースができていただけに、結果としては残念です。ただ、今回の週末で得られたものは大きいです。僅差で戦うスーパーフォーミュラで、やはり予選は重要。次戦はもっと細かいところもしっかりと積み上げて、予選から前に行けるよう準備したいと思います」



#65 : イゴール・オオムラ・フラガ

「単純に、悔しいです。僕たちとしては完璧なレースをしていました。前半スティントで、前を走る 2 人と比べても僕のペースは良かったですし、チームも完ぺきな作業をしてくれました。過去一と言っていいぐらいの状況で、トップでリスタートできると思ったのですが、様々な要因で、気づいた時には 3 番手でした。そこから先は、前にクルマがいるとなかなかペースが伸びづらく、単独であればどれだけのペースが出せたのかは分かりませんが、自分たちのパフォーマンスとしてはいいものがあったと思います。次戦は富士ですが、7 月大会でも調子が良かったので、今回得たデータも活かし、チームとしてできることを最大限やって、次に挑みたいと思います」

※次戦は 10 月 10 日・11 日に富士スピードウェイで開催されます。





BOAT RACE 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship Round 8

BOAT RACE | 2026 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第8戦 東北大会 スポーツランドSUGO

Porsche Carrera Cup Japan 2026 第6戦 & 第7戦 / 2026 N-ONE OWNER'S CUP Rd.7

主催:株式会社菅生 / 菅生レーシングスポーツクラブ (SRSC)

公認:国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)

後援:観光庁/スポーツ庁/公益社団法人宮城県観光連盟/村田町/名取市/柴田町/大河原町/蔵王町/川崎町/河北新報社/岩沼市観光物産協会



8/8 SAT 9 SUN

BOAT RACE 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship Round 8



Beyond the Emotion

Qualifying Final Classification

2026. 08. 08

Weather : Cloudy

Track : Dry

SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)

Pos	No.	Driver	Car	Engine	Q3	Q2	Q1	Gr.
1	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'04.864	1'05.226	1'05.412	B
2	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'04.896	1'04.994	1'05.354	B
3	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.137	1'05.196	1'05.625	B
4	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'05.150	1'05.305	1'05.625	A
5	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	1'05.250	1'05.231	1'05.621	B
6	28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F		1'05.308	1'05.829	A
7	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F		1'05.315	1'05.708	A
8	50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'05.332	1'05.765	A
9	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E		1'05.348	1'05.698	A
10	38	Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F		1'05.389	1'05.535	B
11	39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F		1'05.402	1'05.647	A
12	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F		1'05.651	1'05.656	B
13	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'05.996	B
14	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E			1'05.866	A
15	97	Roman Stanek	北カル Buzz MK SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'06.000	B
16	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'05.924	A
17	※ 9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'06.286	B
18	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'06.035	A
19	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E			1'06.363	B
20	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E			1'06.195	A
21	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'06.417	B
22	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'06.691	A
23	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E			1'07.359	A
***** NOT CLASSIFIED *****								
	7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F			1'14.223	B

Q1A Start : 14:20:00 Finish : 14:30:00 / Q1B Start : 14:35:00 Finish : 14:45:00

Entry : 24 Start : 24

Q2 Start : 14:55:00 Finish : 15:05:00

Q3 Start : 15:15:00 Finish : 15:22:00

予選通過基準タイム (107%) Gr. A (1'10.219) Gr. B (1'09.929)

【Q1 Gr. B】No. 7 2026 SF-SpR 19.2.「走路外走行」当該ラップタイム (1'06.454) 不採用

【Q1 Gr. B】※ No. 9 2026 SF-SpR 19.5.「アタック中車両の進路を妨害」3ラップ降格とする。(裁定時刻 16:00)

計時委員長	競技長	審査委員長
-------	-----	-------





BOAT RACE 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship Round 8

BOAT RACE | 2026 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第8戦 東北大会 スポーツランドSUGO

Porsche Carrera Cup Japan 2026 第6戦 & 第7戦 / 2026 N-ONE OWNER'S CUP Rd.7

主催:株式会社菅生 / 菅生レーシングスポーツクラブ(SRSC)

公認:国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)

後援:観光庁/スポーツ庁/公益社団法人宮城県観光連盟/村田町/名取市/柴田町/大河原町/蔵王町/川崎町/河北新報社/岩沼市観光物産協会



8/8 SAT 9 SUN

BOAT RACE 2026 Japanese SUPER FORMULA Championship Round 8



Beyond the Emotion

SUPER FORMULA Round 8

Final Classification

2026. 08. 09

Weather : Cloudy

Track : Dry

SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)

Pos	No.	Driver	Car	Engine	Lap	TotalTime	Gap	INT	Best Time	Lap
1	14	Nirei Fukuzumi	NTT docomo Business ROOKIE SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'17.129			1'06.893	50
2	1	Ayumu Iwasa	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'17.634	0.505	0.505	1'06.996	50
3	65	Igor Omura Fraga	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'18.068	0.939	0.434	1'06.693	50
4	6	Kakunoshin Ohta	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'21.937	4.808	3.869	1'07.237	26
5	16	Tomoki Nojiri	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'23.267	6.138	1.330	1'07.059	26
6	5	Tadasuke Makino	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'25.760	8.631	2.493	1'07.310	18
7	36	Sho Tsuboi	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'26.380	9.251	0.620	1'07.150	43
8	37	Sacha Fenestraz	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'27.104	9.975	0.724	1'06.901	51
9	19	Zak O'Sullivan	WECARS IMPUL with SDG SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'29.394	12.265	2.290	1'07.080	50
10	64	Ren Sato	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'31.290	14.161	1.896	1'07.124	19
11	3	Luke Browning	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'31.575	14.446	0.285	1'07.366	50
12	※2 7	Kamui Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'32.243	15.114	0.668	1'07.185	51
13	12	Syun Koide	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'34.485	17.356	2.242	1'07.399	51
14	8	Kenta Yamashita	KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'52.281	35.152	17.796	1'07.539	20
15	※3 39	Toshiki Oyu	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h05'56.981	39.852	4.700	1'07.054	18
16	22	Nobuharu Matsushita	DELIGHTWORKS SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h05'58.524	41.395	1.543	1'07.837	24
17	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h06'01.887	44.758	3.363	1'08.297	14
18	53	Charlie Wurz	TEAM GOH SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h06'02.001	44.872	0.114	1'08.140	39
19	9	Giuliano Alesi	KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h06'02.623	45.494	0.622	1'08.256	39
20	※1 50	Yuto Nomura	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h06'05.959	48.830	3.336	1'07.630	16
21	※4 28	Rikuto Kobayashi	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	51	1h06'18.069	1'00.940	12.110	1'07.217	18
***** NOT CLASSIFIED *****										
	4	Ukyo Sasahara	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	27	31'28.466	24 Laps	24 Laps	1'08.569	26
	38	Sena Sakaguchi	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	25	28'41.583	26 Laps	2 Laps	1'07.772	17
	97	Roman Stanek	パナソニック Buzz MK SF23	TOYOTA/TGR-D TRD01F	25	29'22.136	26 Laps	40.553	1'07.264	19

完走周回数 45Laps

Fastest Lap

1'06.693 (50/51) 193.595km/h No.65 Igor Omura Fraga/PONOS NAKAJIMA RACING SF23

Start Time :14:24:12 Finish Time :15:29:29

Entry : 24 Start : 24 Finish : 21

SC導入 14:55:08~15:11:31 (28Laps~35Laps)

※1 CarNo. 50 L項 4.4.d)「ホワイトラインカット(ピット入口)(レコ/サンスラップ中)」訓戒(裁定時刻 13:36)

※2 CarNo. 7 2026 SF-SpR 26.9.「ピットレーン速度違反(レコ/サンスラップ中)」罰金3万円(裁定時刻 13:40)

※1 CarNo. 50 2026 SF-SpR 19.6.「青旗無視」決勝結果に5秒加算 (1h06'00.959+5秒)(裁定時刻 15:05)

※3 CarNo. 39 2026 SF-SpR 26.19.「アンバーフリース」決勝結果に10秒加算 (1h05'46.981+10秒)(裁定時刻 15:13)

※4 CarNo. 28 2026 SF-SpR 26.19.「ピット作業違反(他車チームのエリアに接触)」決勝結果に10秒加算 (1h05'58.069+10秒)(裁定時刻 15:17)

※4 CarNo. 28 2026 SF-SpR 15.1.1)「危険なドライブ」行為(接触行為)」決勝結果に10秒加算 (1h05'58.069+10秒)(裁定時刻 15:34)

計時委員長	競技長	審査委員長

